



大好きな国



国籍	種	フィリピン
職	種	溶接
実習実施者		株式会社 IHI
監理団体		西日本海外業務支援協同組合

ヴィセンテ ノエル ガモ
VICENTE NOEL GAMO

私の名前はノエルと申します。フィリピン人です。2016に日本へ来日しました。日本に来る前に自分の国と日本の文化や言葉の違いなどは覚悟をしていましたが、日本で初めての生活はとても大変でした。

生まれて初めて海外で暮らす事になったため色々困りました。日本語の勉強をしてきましたが、私の職場は兵庫県にあり、関西弁という方言に悩まされました。仕事においても、ボイラという高圧配管を作る、レベルの高い仕事を行っている会社に入った私はその質の高さにおどろかされました。仕事もプライベートも大変でホームシックになった事があります。しかし、毎日一緒に仕事をしているやさしい方々のおかげで、いつの間にかその言葉の壁をこえる事ができ、沢山の友達ができました。分からない言葉が山ほどありますが、友達は教えてくれ、色々な所に連れて行ってくれるため毎日が楽しくなってきました。2019年に一度帰国し約10ヶ月間フィリピンにいました。その間妻が妊娠しました。しかし、日本との契約があるので日本に戻らなければなりませんでした。日本に戻って数ヶ月後、世界的な問題であるコ

ロナウィルスがはやっていました。そして、妻の予定日が来て子供が生まれました。私は帰りたいかったが帰れなかった。とても寂しかったが、気持ちを切り替え、妻と子供のために仕事を頑張ろうと思いました。

私の子供は元々心臓が悪かったのですが、医者によると一年後、心臓が大きくなったら手術を受ければ治ると言われていたため私達は安心しました。ですがある日、子供の調子が悪くなりました、すぐに病院に連れ、入院しましたがたった数時間で子供が亡くなってしまいました。当時、日本もフィリピンも緊急事態宣言中だったので、また帰る事ができませんでした。辛くて辛くてたまりませんでした。情けなく、何もできない男だと考え、自分を責め続けました。頭がおかしくなりそうなくらい辛かったのです。でもその時、思いもしなかった事が起きました。日本人の友達が家に来てくれて、私を励ましてくれ、一緒に泣いてくれました。ほんの少し、気持ちが落ち着いた時「私は一人じゃない」、確かにここは自分の国ではないし、家族もいないけど、本当の友達がいるんだと思いました。そして、ますますこの国が好きになりました。生活に慣れただけではなく日本人との絆が深くなったわけでもあると思います。

今年の11月に私の契約が終わります。それを思うと心の中は複雑な気持ちになります。妻と家族に会えますが、同時に日本の友達との別れを意味します。しかし、前に進まないといけなのだろう。そう思って日本で学んだ事、経験した事を生かして進みたいと思います。この5年間一生忘れられないです。私の大好きな国とここに居る友達とはしばらくお別れになりますが必ずいつかまた会いに来ます。